

# 職務経歴書

2023 年 12 月 03 日

## 個人情報

名前	年齢	居住地	最寄駅
S・T	30	神奈川県川崎市幸区	新川崎駅, 日吉駅

## 職務要約

私はこれまで 5 年 10 ヶ月、Web アプリケーションエンジニアとしてシステム開発業務に従事し、キャリアを積んで参りました。そこでは Java, Python を利用したバックエンド開発、React, Vue.js を利用したフロントエンド開発に邁進し、加えて設計などの上流工程での業務にも注力することで、着実に Web アプリケーションエンジニアとしての経験・スキルを積み重ねることができたと振り返ります。

## 職務経歴（略歴）

### システム開発に関する職歴

時期	期間	プロジェクト名
2022/01～2023/12	24 ヶ月	<a href="#">大会サイトプラットフォーム開発</a>
2021/07～2021/12	6 ヶ月	<a href="#">就職情報システムリプレイス</a>
2020/07～2021/06	12 ヶ月	<a href="#">コミュニケーションプラットフォーム開発</a>
2020/05～2020/06	2 ヶ月	<a href="#">QRCode Hangtag</a>
2019/06～2020/04	11 ヶ月	<a href="#">入出荷 Web システム及び SCM システム開発</a>
2019/03～2019/05	3 ヶ月	<a href="#">可視化システム(Mobile Data Viewer)</a>
2018/12～2019/02	3 ヶ月	<a href="#">在庫管理システム開発</a>
2018/03～2018/11	9 ヶ月	<a href="#">雇用サービスシステム更改</a>

## 職務経歴

### 大会サイトプラットフォーム開発

2022/01～2024/01

#### プロジェクト概要

このプロジェクトは、誰でも簡単に大会サイトを開設でき、安全に大会を運営できるプラットフォームの構築を目指しています。いつでもどこからでも好きなチームや選手を応援し、感動を共有できます。このプラットフォームにより、世界中の人々と繋がり、一緒になって夢中になれる未来を実現することが目的です。

## 担当業務

要件定義とプロダクト開発を牽引しました。さらに、フロントエンド開発チームのリードエンジニアとして、チームマネジメントの責任を担いました。

## 取り組んだこと

### 要件定義

入社当初、私は会社が長年にわたって蓄積してきた大会運営の経験に基づき、新しい大会運営プラットフォームを開発し、ユーザーを囲い込む重要な役割を任されました。しかし、最初は大会運営に関する知識が不足していました。そこで、各部署とのヒアリングを重ね、現状の業務フロー図（As-Is）を作成し、業務の全体像を理解することからスタートしました。

その後、理想の業務フロー図（To-Be）を作成し、プロダクトの輪郭を明らかにしました。さらに、業務フローの詳細をより深く理解するために、ユースケース図（To-Be）も作成しました。その後、各部署との議論を経て、理想のユースケース図（As-Is）を作成しました。このプロセスを経て、目指すプロダクトの詳細がより明確になりました。

この成果物を基に、プロダクト要求仕様書の作成に取り掛かりました。この文書では、プロジェクトの目標を明確にし、プロダクトのコンセプトとビジョンを定めることに焦点を当てました。作成した要求仕様書は執行役員に共有し、議論を通じてプロダクトの方向性について調整を行いました。その結果、執行役員を通じて経営層の理解を得ることができ、プロダクト開発における重要な一歩を踏み出すことができました。

次に、Figma を使用してプロトタイプを作成しました。これは他部署や経営層にプロジェクトの具体的なイメージを伝える上で効果的でした。このプロトタイプを通じて、多くのフィードバックを得ることができ、プロダクトの質を向上させることができました。さらに並行して、長年の大会運営の経験を持つ社員と密接に協力し、多くの議論を経てシステムの機能一覧を策定しました。

しかし、議論の経緯をドキュメントに残さなかったことは、大きな失敗でした。その結果、機能の背景や経緯を説明する際に困難が生じ、一部の機能についての説明ができなくなりました。さらに、議論に参加した人としていない人との間で情報の差が生じ、属人化の問題を引き起こしました。この経験から、プロダクトの経緯を記録する重要性を学びました。また、経営者層への理解を得る過程で、開発期間内で実現できる機能の範囲を適切に管理することができませんでした。経営者層は、開発期間内で実現可能な範囲を超えて多くのことを期待するようになりました。MVP 開発からスタートすることの重要性をもっと明確に伝え、理解を得るべきだったと考えています。

この経験は多くの成功と失敗を含み、私にとって貴重な学びとなりました。

### フロントエンド開発のリードとマネジメント

フロントエンド開発のリードエンジニアとして、技術調査と選定の責任を担いました。市場の最新トレンドと技術の将来性を考慮し、さまざまなフレームワークやライブラリを比較・検討しました。この過程では、プロジェクトの要件と目標に最適な技術スタックを決定することに重点を置きました。

また、選定した技術に基づいて、開発方法に関する Wiki の作成も行いました。この Wiki では、フォルダ構成、コンポーネントの設計方針、状態管理の手法など、開発に必要な情報を包括的にまとめています。これにより、開発ガイドラインが明確になり、フロントエンドチームの作業効率の向上に貢献しました。

さらに、新たな挑戦としてフロントエンドチームのマネジメントを担うことになりました。チームメンバーの技術力や特性を考慮し、タスクマネジメントや進捗の管理を行いました。当初、マネジメント経験が不足していたため、関連書籍を参照し、上司や先輩からのアドバイスを積極的に求めて実践に活かしました。この過程を通じて、マネジメントスキルを向上させることができました。

## 使用技術

## 就職情報システムリプレイス

2021/07～2021/11

### プロジェクト概要

既存の就職情報提供（合同企業説明会、就活イベント、就活セミナー等）システムを最新の技術やユーザーのニーズに合わせてリプレイスすることを目的としています。

### 担当業務

Vue.js を使用したフロントエンドの開発を担当しました。

### 取り組んだこと

プロジェクトに参加して最初に着手したのは、非効率な開発環境の改善でした。ソースコードの ZIP ファイルによるやり取りを解消し、GitHub の導入を推進しました。

続いて、数千行のファイルを整理し、共通部分を明確にして、Atomic Design の概念を取り入れつつコンポーネントの分類と改善に取り組みました。このリファクタリングは開発速度の向上に寄与しましたが、Atomic Design の方法論に関してはチーム間で見解が一致せず、最良のアプローチとはなりませんでした。この経験から、チーム内での認識の一致がいかに重要かを学びました。

さらに、JavaScript の処理を単一責任原則に則ってリファクタリングし、凝集度が高く結合度の低いコードを目指しました。開発経験の浅いメンバーへのコードレビューを通じて、チーム全体の技術力向上に貢献したことは大きな成果でした。

### 使用技術

JavaScript · Vue.js · PHP · Laravel · MySQL · AWS (EC2 · S3)

---

## コミュニケーションプラットフォーム開発

2020/07～2021/06

### プロジェクト概要

従業員エンゲージメントの向上を目的に、従業員が積極的に関わることを目指したコミュニケーションプラットフォームの開発を行いました。従来の社内報やイントラネットに変わる、より効果的で効率的な社内コミュニケーションを実現することが目標です。

### 担当業務

Vue.js を使用したフロントエンドの開発と設計を行い、単体テストおよび結合テストも実施しました。

## 取り組んだこと

このプロジェクトは、初めて直接顧客と対話する機会を得ることができました。毎日の定例会議で顧客の要望を受け、それに基づいた要件や仕様について協議を行いました。これまでの経験とは異なるコミュニケーションスキルが求められ、私にとって新たな挑戦でした。顧客のニーズを理解し、それに応じた提案を行う能力、顧客と共に最良の解決策を見つけ出す力が重要だと感じました。これらのスキルを磨くため、日々の学習と実践を重ねていきました。その過程で、顧客のプロダクトに対するビジョンや目標を理解し、実現に必要な要素と一緒に模索しました。エンドユーザーのニーズを顧客と共に考え、共創するプロダクト開発は楽しく、提案が採用された時の喜びは大きかったです。

また、デザイナーチームと共に UI 設計に関わる機会を得ました。UI デザインの基礎知識が不足していたため、自己学習を通じてスキルアップを図りました。プロのデザイナーと共に働きながら、UI 設計の基礎や考え方を学ぶ貴重な経験となりました。

開発面では、チームメンバーと設計や実装方針についての議論を重ね、相互のコードレビューを通じてソースコードの品質向上に努めました。新機能の開発では、ライブラリの技術調査から導入までを担当しました。

## 使用技術

JavaScript・Vue.js・Python・Flask・Flask-RESTPlus・MySQL・AWS(MediaConvert・CloudFront・CloudSearch・S3・CodePipeline・CloudSearch)

---

## QRCode Hangtag

2020/05～2020/06

### プロジェクト概要

購入した商品の下げ札に付けられた QR コードをスマートフォンで読み取り、ブラウザ上で商品情報を提供するシステムの開発を目指しました。

当初、このプロジェクトは年始に開始する予定でしたが、予定よりも早く開発に取り掛かりました。開発を進めていた中で、複数の新規案件を受注したため、プロジェクトは一時的に中断されました。

### 担当業務

私は画面、API、DB の設計を担当しました。設計完了後、Python と Vue.js を用いて API とフロントエンドの開発を行い、品質確保のため単体テストを実施しました。

## 取り組んだこと

このプロジェクトでは、初めてペアプログラミングを取り入れました。初期の知識不足が課題で、効果的な進行方法を探る必要がありました。解決策として、毎週の振り返りを行い、具体的な問題点の特定と改善策を探索しました。しかし、工数の増加が大きいデメリットと評価され、組織全体でのペアプログラミングの定着には至りませんでした。私は、期待値とのずれが大きい部分やレビューが大変な部分をペアプロすることの有効性を学びました。

また、TDD（テスト駆動開発）とクリーンアーキテクチャを採用しました。これらは私たちにとって初めての試みで、多くの挑戦を伴いました。特に、クリーンアーキテクチャの導入は高い学習コストと継続的なキャッチアップを要しました。開発チームには新卒メンバーもあり、彼にはこれらの高度な概念を理解し実践してもらう必要がありま

した。プロジェクトは難易度の高いチャレンジとなり、結果として、クリーンな実装には至らず、負債を残しました。

新しい技術やアプローチを組織に導入する際、段階的な導入の重要性を深く認識しました。また、新技術の導入は組織の全面的なサポートが不可欠であることを学びました。技術的な課題が多いこのプロジェクトでは、毎週の振り返りや日常のコミュニケーションを通じて問題を特定し、解決策を探求しました。その結果、チームは成長し、多くの教訓を得ることができました。この経験は、失敗から学び、成長するための貴重な機会となりました。

#### 使用技術

TypeScript・Vue.js・Vuetify・Python・SQLAlchemy・MySQL・AWS(Lambda・API Gateway・CloudFront・S3・Cognito・Amplify)

---

## 入出荷 Web システム及び SCM システム開発

2019/06～2020/04

### プロジェクト概要

このプロジェクトは、物流センターの自動化を目指しています。世界の先進的な技術を導入することで、入荷から出荷までの工程を自動化し、物流の最適化を実現することが目的です。

### 担当業務

SCM（サプライチェーン・マネジメント）システムの開発に携わりました。さらに、この SCM システムと連携する荷主向けの API および Web 画面の開発にも取り組みました。

基本設計や単体テスト、内部結合、外部結合、シナリオテストの各仕様書を作成しました。さらに、チームメンバーが作成した仕様書の品質を確保するため、それらのレビューも担当しました。

### 取り組んだこと

設計書のレビュー担当として、私は複雑な要件と仕様に対処する必要がありました。プロジェクトでは、全体像の理解が難しく、チーム内での役割分担も複雑でした。仕様策定は客先に常駐するメンバー、設計書の作成は他拠点のメンバーが担当し、三拠点が関わる状況でした。このような状況下で、情報の格差が課題となりました。

この課題に対し、私は積極的に異なる拠点のメンバーとの連携を図りました。客先に常駐するメンバーから直接情報を収集し、それを他拠点のメンバーに伝え、情報格差の解消に努めました。共有された仕様に基づき設計書をレビューし、漏れや誤りを減らすため尽力しました。その結果、多数の設計書をレビューし、設計漏れを発見することで、プロジェクトの品質を向上させました。

また、テスト仕様書の作成を任せられ、試験観点やテストケースの策定に初めて取り組みました。未経験の領域だったため最初は難しさを感じましたが、書籍や記事を通じて自己学習を行い、不慣れな分野に対する理解を深めました。その結果、単体テストからシナリオテストに至るまでの一連のテスト仕様書を完成させることができました。

### 使用技術

Azure(API Management・Azure Functions・Azure Storage・Azure Database for MySQL)・TypeScript・Vue.js・Vuetify・Node.js・Sequelize

---

## 可視化システム(Mobile Data Viewer)

2019/03~2019/05

### プロジェクト概要

このプロジェクトは、MaaS（Mobility as a Service）として、都市部の渋滞や移動困難者、公共交通のドライバー不足などの社会問題を解決することを目的としています。

### 担当業務

API およびフロントエンドの開発を行い、単体テストを実施しました。バックエンドでは、Flask を活用してユーザー管理機能用の API を開発。フロントエンドでは、ゼンリン API や内製 API（携帯基地局の情報や自動車の走行データ）を利用して、データを地図上で視覚的に表示する機能を組み込みました。

### 取り組んだこと

このプロジェクトでは、1 人称で機能開発を担当しました。開発にあたっては、しっかりと計画を立て、時間管理を徹底し、コードの品質にも細心の注意を払いました。

TypeScript と Flask に関しては、プロジェクト開始時には熟知しておらず、進行中にこれらを学び、使いこなす必要がありました。オンライン教材や書籍を活用し、実際にコードを書きながら習得しました。加えて、ベテランのエンジニアからのコードレビューも受け、そのフィードバックを取り入れることで、技術力を高めました。

私が開発した機能は、プロジェクトの要求を満たし、期待通りに機能しました。新しい技術の習得により、私のスキルセットは大きく広がり、将来のプロジェクトにも役立つようになりました。ベテランエンジニアからの学びは、今後のキャリアにとっても貴重な経験となりました。

### 使用技術

TypeScript ・ Vue.js ・ Vuetify ・ Python ・ Flask ・ Flask-RESTful ・ SQLAlchemy ・ MySQL ・ AWS(RDS ・ EC2 ・ S3)

---

## 在庫管理システム開発

2018/12~2019/02

### プロジェクト概要

このプロジェクトでは、外部システムと連携して、プリペイドカードの在庫を管理するシステムを開発しました。このシステムは、適切な在庫量を維持することを目的としています。

### 担当業務

私の役割は、API とフロントエンドの開発、単体テストの実施でした。

### 取り組んだこと

初めて Vue.js と Wijmo を使ったフロントエンド開発、Python と Django でのバックエンド開発に取り組みました。新しい技術の習得は難しかったが、オンライン教材や書籍を駆使して自習しました。特に、Wijmo については日本語の情報が限られていたため、情報収集が困難でした。しかし、公式のサポートチームの助けを借りて知識を深めることができました。この経験により、技術力が向上し、開発効率が大幅に改善されました。

#### 使用技術

Python ・ Django ・ Django REST framework ・ JavaScript ・ Vue.js ・ Wijmo ・ jQuery ・ MySQL

---

## 雇用サービスシステム更改

2018/03～2018/11

### プロジェクト概要

このプロジェクトは、雇用サービスの機能強化とコスト削減を主な目的としています。業務フローとシステム全体を一から見直し、大幅な改善を目指しました。

### 担当業務

このプロジェクトでは、求人機能を開発するチームのエンジニアとして参画しました。私の主な役割は、求人画面の基本設計を行い、Java と JSP での開発、そして単体テストを実施することでした。

### 取り組んだこと

私は初めてのプロジェクトに参加した直後、指導を担当する予定だった先輩が退職しました。そのため、独学を進める一方で、社外のチームメンバーからのサポートも必要でした。この課題への対応として、社外メンバーと積極的に関係を構築し、彼らの協力を得てプロジェクトを進めました。この過程で、外部のメンバーとの協働を通じてプロジェクトを前進させる方法を学びました。

このプロジェクトでは、要件定義を基に、顧客のニーズに応える設計書の作成にも取り組みました。作成した設計書は、チーム、リーダー、元請け、顧客といった多くのフィードバックを受け、品質を高めるための改善点を見つける機会となりました。特に見逃していた点の改善により、成果物の品質を高めました。

さらに、設計から実装、テストに至る一連の開発プロセスを経験し、チームとの協力の中で多角的な視点からの問題発見と解決の重要性を学びました。この経験は、私のキャリアにとって非常に価値あるものとなりました。

#### 使用技術

Java ・ Spring ・ Servlet/JSP ・ Symfoware